



スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和3年5月31日発行 No.2

今回は大人と子どもの間に生まれる『悪循環』について触れました。今回は悪循環を断ち、子どもとの良好な関係『好循環』をつくるためには、どのような関わりをすると良いのか、説明します。

●子どもの困った行動ではなく、好ましい行動に注目してみよう。

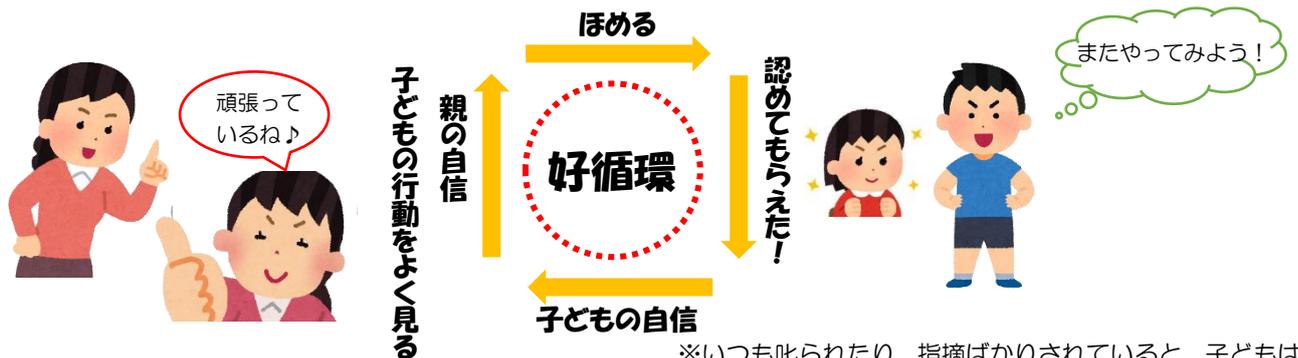
- 呼んだら振り向いた
- 簡単な指示に応じた
- 一人でご飯を食べようとしている など

ほめる

子どもはほめられることで、やる気が起きたり、ほめられた行動を繰り返すようになります。

ほめる関わりを続けると…

ほめてくれる大人の声かけを受け入れやすくなり、応じようとする力が増え、大人と子どもの間に『好循環』が生まれます。



※いつも叱られたり、指摘ばかりされていると、子どもは相手の声かけを聞き入れたくない気持ちになります。

“ほめる”というのは、“子どもの行動を認めている”ということに繋がっています。子どもとの良好な関係を目指して、まずは『1日1ほめ!』を意識して関わってみましょう。

好循環にするために、“ほめる”他にも効果的な関わりがあります!



子どもをほめること以外に、“子どもと一緒に遊ぶ”“子どもをそばで見守る”“子どもの話を向き合って聞く”“子どもの良いところを見つける”などの関わりも『好循環』が生まれます。“一生懸命頑張っていることを知っているよ”という大人の気持ちを言葉で伝えてみましょう。

質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

地域支援相談担当	44-3555
野のはな園	44-1022

